

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2016年度日本陸上競技連盟競技規則および大会規定により実施する。

2 ウォーミングアップについて

- (1) ウォーミングアップは、サブトラックを使用すること。
- (2) フィールド種目の練習は、招集完了後に競技役員の指示により競技場内で行う。
- (3) サブトラックでの投てき練習は一切禁止する。

3 招集について

- (1) 招集所は、雨天練習場に設ける。
- (2) 各種目の招集開始・完了時刻は、プログラムの競技日程欄に記載している。
- (3) 招集の手順
 - ① 招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際、ナンバーカード・スパイクピンの長さ（走高跳・やり投は12mm以下、その他は9mm以下）の点検を受け腰ナンバーを受け取る。
 - ② 点呼の代理人は認めない。ただし、2種目にわたって同時刻に出場する競技者は、あらかじめ本人が競技者係へ多項目同時出場届を提出し、併せて招集に来ることが出来ない種目の点呼（ナンバーカード・腰ナンバーカード・スパイク等の検査）を受けておくこと。その場合に限り、代理人の点呼を認める。
 - ③ 招集完了時刻に遅れた競技者は、出場できない。
 - ④ 当該種目を欠場する者は、あらかじめ棄権届を競技者係に提出すること。
*多項目同時出場届、棄権届は、招集所備え付けの用紙を使用すること。

4 競技について

- (1) トラック競技の予選は、中学女子1500mを除きタイムレースで行う。
- (2) レーン、試技順は、すべてプログラム記載番号順とする。
- (3) 小学生リレーのスタートは日本語コマンドとし、2回目に不正スタートをしたチームは失格とする。
- (4) リレー種目のオーダー用紙の提出について（プログラム巻末のリレーオーダー用紙を使用すること）
予選：第1組の招集完了時刻の2時間前から1時間前までに競技者係に提出すること。
決勝：変更の有無にかかわらず、招集完了時刻の1時間前から30分前までに競技者係に提出すること。
- (5) 3000m・5000mは、別ナンバーを使用しグループスタートで行う。
- (6) 腰ナンバー・別ナンバーは、競技終了後にフィニッシュ地点のナンバーカード係に返却すること。
- (7) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、下記の通りとする。（天候により変更する場合もある）

男子 高校生以上 走高跳	練習 1m75	1m80-1m85-1m90-1m93-1m96	以後 3cm
女子 中学生 走高跳	練習 1m30	1m35-1m40-1m45-1m48-1m51	以後 3cm
男子 高校生以上 棒高跳	練習 2m70~5m00	3m60-3m80-4m00-4m20-4m30	以後 10cm
女子 高校生以上 棒高跳	練習 2m30~3m40	2m60-2m80-3m00-3m20-3m30	以後 10cm

※ 1位決定のバーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

- (8) 競技運営上、走幅跳、砲丸投、円盤投、やり投は計測基準を設ける。

5 競技用具について

- (1) 投てき用具は、主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、やりは検査を受けて自己のものを使用することができるが、この場合は共用となる。

検査時刻ー13:10 検査場所ーフィニッシュ側器具庫

- (2) 棒高跳用ポールは、跳躍審判員の確認を受け自己のポールを使用する。

6 対抗得点について

1位-8点 2位-7点 3位-6点 4位-5点 5位-4点 6位-3点 7位-2点 8位-1点とする。

7 その他

- (1) 記録証明書を希望する者は、1種目500円を添えて本部庶務係まで申し出ること。
- (2) 競技場内外は清潔に保つこと。（ゴミの持ち帰りにご協力ください）